

いたばしグリーンプラン 2035 の策定に向けた 区民アンケート調査の実施結果

1 区民アンケート調査の概要

- 15 歳以上の区民 3,000 人を無作為に抽出し、郵送配布・郵送回収及び Web 回答併用の自記式によるアンケート調査を実施した。
- 上記 3,000 人以外に対しても、板橋区ホームページに Web 回答フォームの URL を記載し、広く回答を募った。
- アンケートは全 28 問で構成されており、問 1～問 12 が「緑の基本計画」に関する調査、問 13～問 23 までは「パークマネジメント」に関する調査、問 24～28 までは回答者についての質問となっている。
- アンケートの概要と緑の基本計画に関するアンケート結果は以下の通りである。

区民アンケート調査の概要

調査期間	令和 6 年 11 月 1 日～11 月 15 日（Web は 11 月 21 日まで）
調査対象者	15 歳以上の板橋区民 及び 板橋区ホームページ閲覧者
配布地域	板橋区内全域
配布・回収方法	郵送配布、自記入郵送回収もしくは Web アンケートフォームへの記入による回収
配布数	3,000 通（15 歳以上の板橋区民を対象とした無作為抽出）
回収数	総合計 1,293 通回収 ※前回比+515 通 内訳：紙面回答による郵送回収 923 通 Web 回答 346 通 板橋区ホームページ経由による回答 24 通
回収率	42.3%（板橋区ホームページ経由による回答を除いた回収率） ※前回比+16.3%

（参考）前回調査の概要

調査期間	平成 29 年 2 月 24 日～3 月 7 日
調査対象者	15 歳以上の板橋区民 3,000 名
配布地域	板橋区内全域
配布・回収方法	郵送配布、自記入郵送回収
配布数	3,000 通（15 歳以上の板橋区民を対象とした無作為抽出）
回収数	778 通回収
回収率	26%

2 区民アンケート調査の集計結果

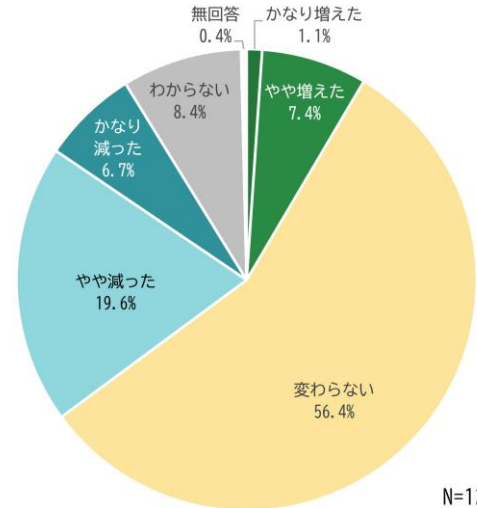
(1) 緑の基本計画に関する調査結果

1) 緑の量や質について

◆最近5年間で、お住まいのまわりのみどりの

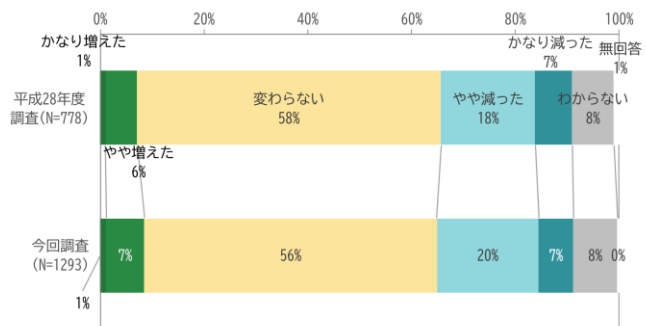
量は、どのように変わりましたか。

「変わらない」が56%を占め最も多く、「やや減った」「かなり減った」を合わせて26%、「かなり増えた」「やや増えた」を合わせて9%である。



N=1293

前回（平成28年度）と比較すると、「やや増えた」が1ポイント上昇、「やや減った」が1ポイント上昇している結果となり、大きな差はないと考えられる。

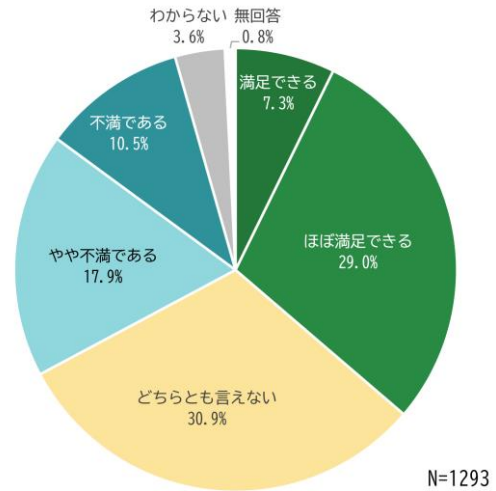


資料3

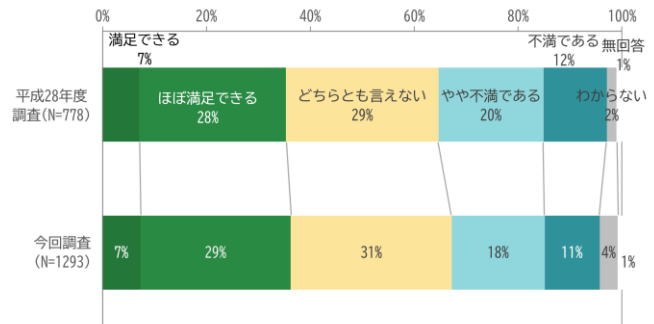
◆お住まいのまわりのみどりは、「地域の魅力を高める」という点からみて、満足できますか。

「満足できる・ほぼ満足できる」が36%、「やや不満である・不満である」が28%、どちらとも言えないが31%と、ほぼ均衡した結果となった。

グリーンプラン2025の目標値であるみどりの満足度40%に対して、「満足できる」と「ほぼ満足できる」で合わせて36.3%となっており、目標値に届いていない。



前回（平成28年度）と比較すると、「ほぼ満足できる」が1ポイント上昇、「やや不満である」、「不満である」が3ポイント低下という結果となり、大きな差はないと考えられる。



2) 区の取り組みへの関わりについて

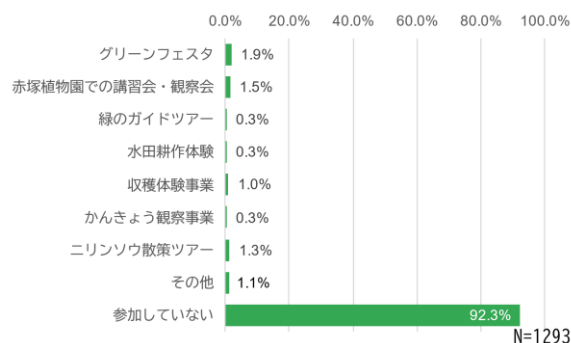
◆5年間の中で、みどりに関わるイベント

に参加したことがありますか。

(あてはまるもの全てを選択)

参加した人の中では、多い方から順にグリーンフェスタ、赤塚植物園での講習会・観察会、ニリンソウ散策ツアーとなっている。

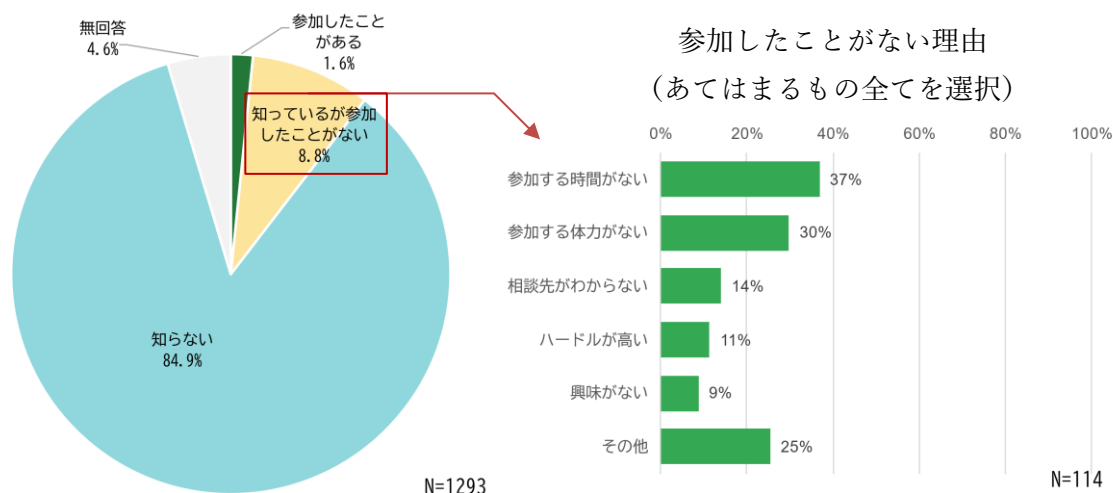
「参加していない」が92%となっている。



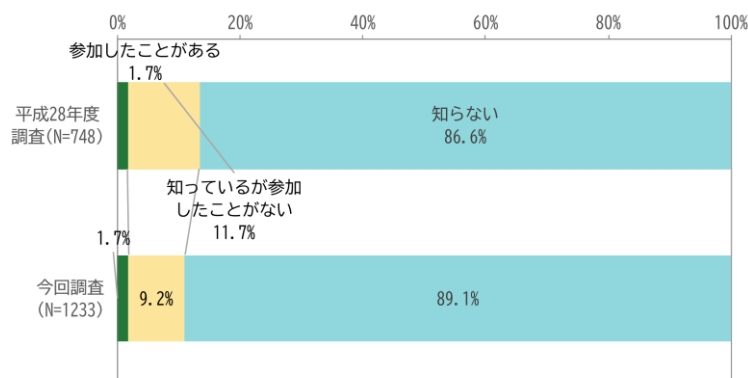
◆公園等を区民と協働して管理する取り組みについてご存知ですか。

①地域がつくる公園制度

知っている人は全体の10%となっています。知っている人のうち、参加したことのない理由としては、「参加する時間がない」が37%、「参加する体力がない」が30%となっている。



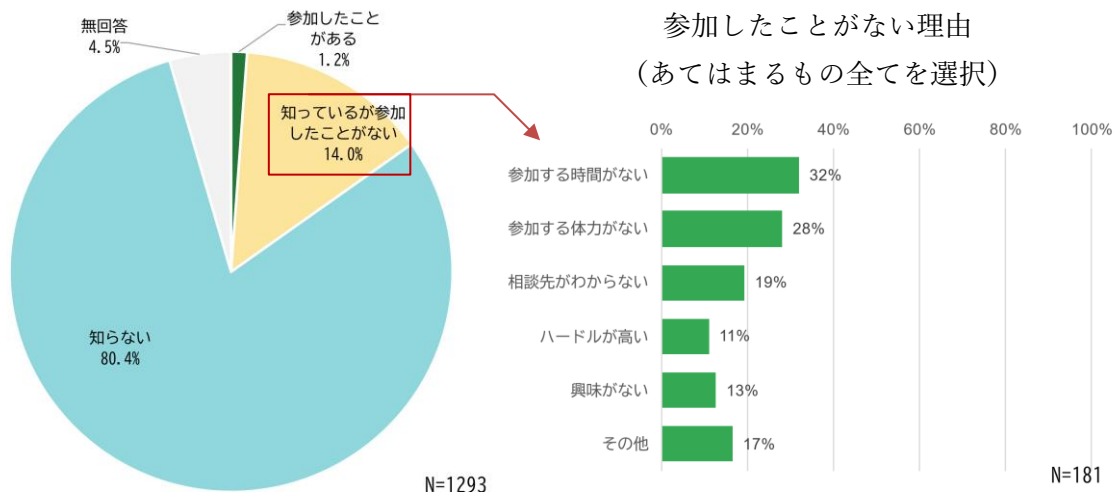
前回(平成28年度)と比較すると、「知らない」と回答した割合が2.5ポイント上がっている。



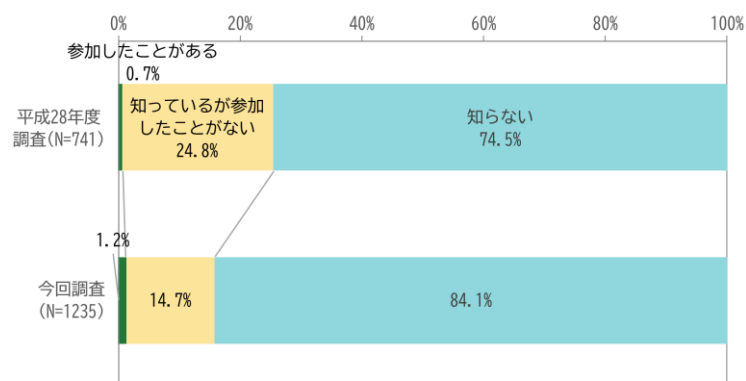
※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

②花づくりグループ

知っている人は全体の15%となっています。知っている人のうち、参加したことのない理由としては、「参加する時間がない」が32%、「参加する体力がない」が28%となっている。



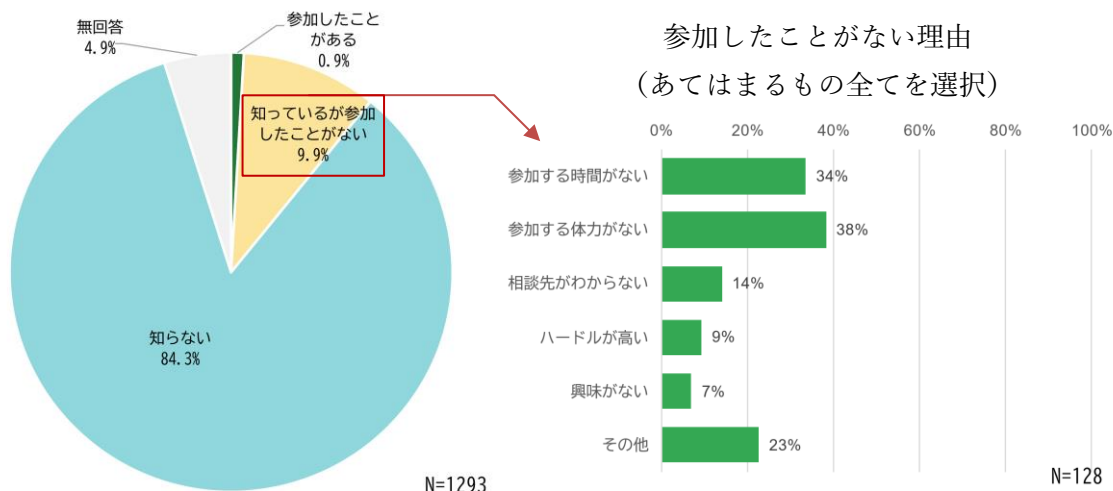
前回（平成28年度）と比較すると、「知らない」と回答した割合が9.6ポイント上がっている。



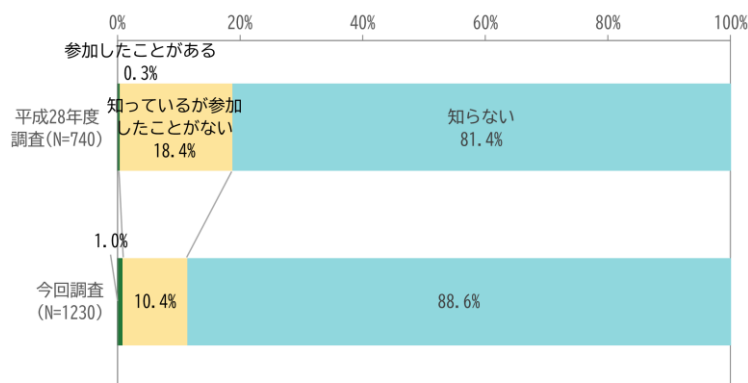
※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

③公園刈り込みボランティア

知っている人は全体の 11%となっている。知っている人のうち、参加したことの無い理由としては、「参加する体力がない」が 38%、「参加する時間がない」が 34%となっている。



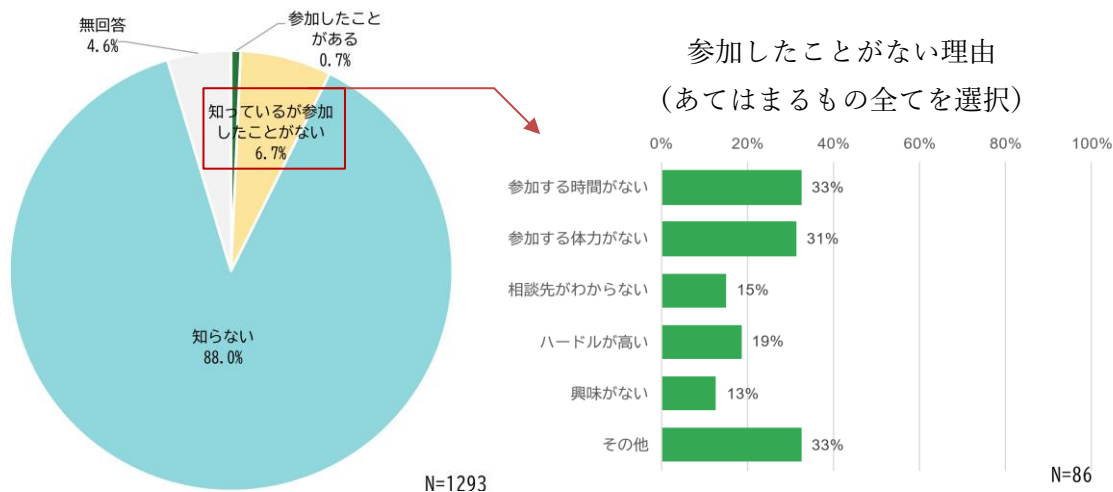
前回（平成 28 年度）と比較すると、「知らない」と回答した割合が 7.2 ポイント上がっている。



※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

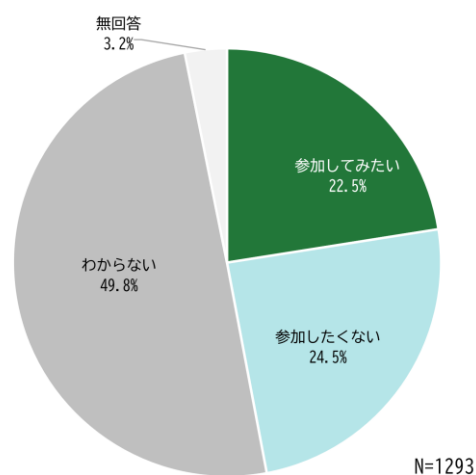
④板橋森林ボランティア

知っている人は全体の 7%となっている。知っている人のうち、参加したことの無い理由としては、「参加する時間がない」が 33%、「参加する体力がない」が 31%となっている。



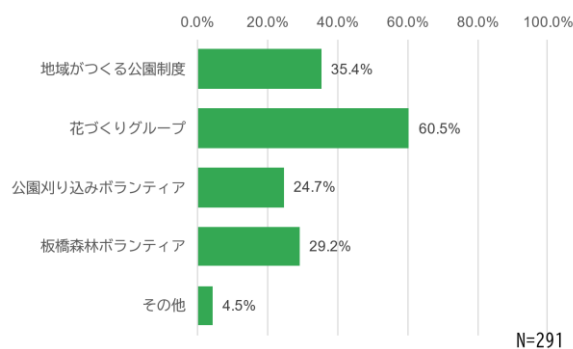
◆みどりや公園に関する協働活動に参加してみたいと思いますか？

「参加してみたい」が 23%、「参加したくない」が 25%となっており、「参加してみたい」が「参加したくない」を2ポイント下回っている。



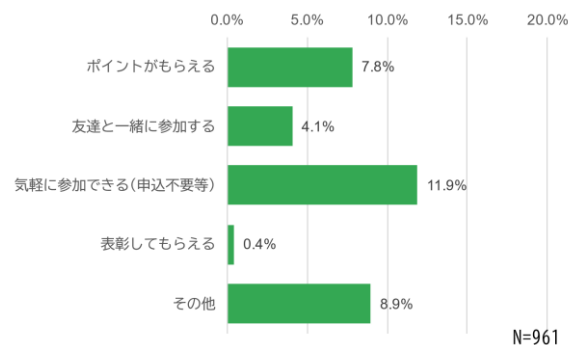
◆どのような活動に参加してみたいと思いますか？（あてはまるものを全てを選択）

「参加してみたい人」の中では、花づくりグループに参加してみたい人が 61%と最も多く、地域がつくる公園制度が 35%、森林ボランティアが 29%、公園刈り込みボランティアが 25%となっている。



◆活動に参加する動機となりうるものがあったら教えてください。（あてはまるものを全てを選択）

「参加したくない」、「わからない」人の中では、気軽に参加できる（申込不要等）が 12%と最も多く、次いでポイントがもらえるが 8%となっている。



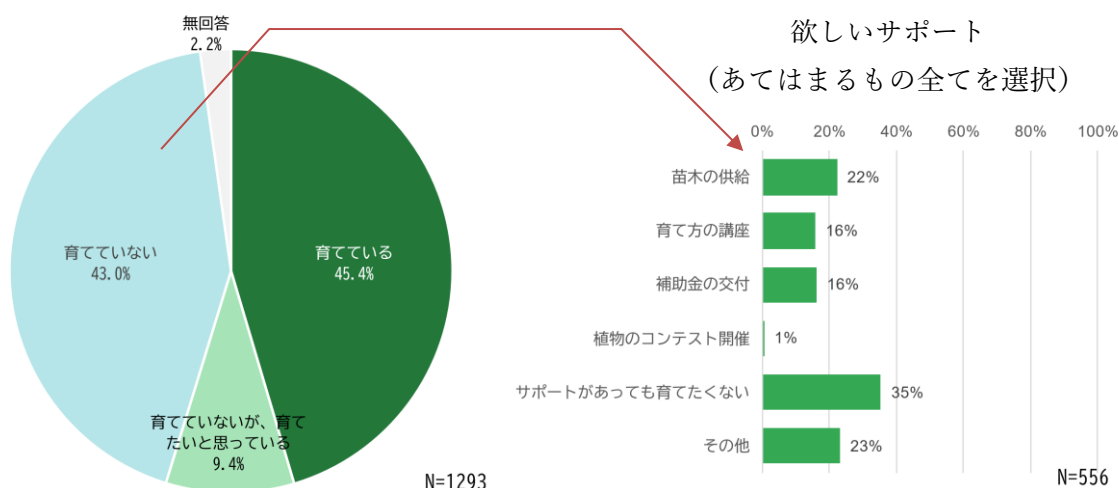
3) 区民の緑化の取組について

◆ご自宅でみどり（芝生、畑等も含む）を育てていますか？

どのようなサポートがあったら育てたいと思いますか？

「育てている」「育てていないが、育てたいと思っている」を合わせて 55%となっており、「育てていない」人の 43%を上回っている。

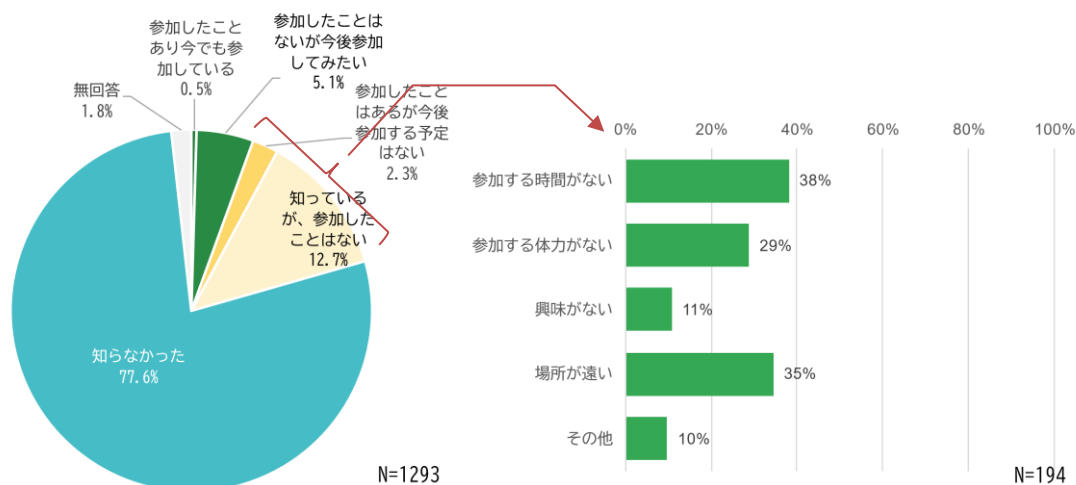
「育てていない」人の中では、サポートがあっても育てたくない人は 35%となっている。欲しいサポートとしては、苗木の供給が 22%、育て方の講座、補助金の交付がそれぞれ 16%となっている。



◆講習会や観察会、緑化相談に参加したことはありますか？

「今でも参加している」「今後参加してみたい」を合わせて 6%となっており、「参加する予定はない」「参加したことはない」人の 15%を下回っている。

「参加する予定はない」「参加したことはない」人の中では、参加しない理由は「参加する時間がない」が最多の 38%となっており、続いて「場所が遠い」が 35%、「参加する体力がない」が 29%、「興味がない」が 11%となっている。

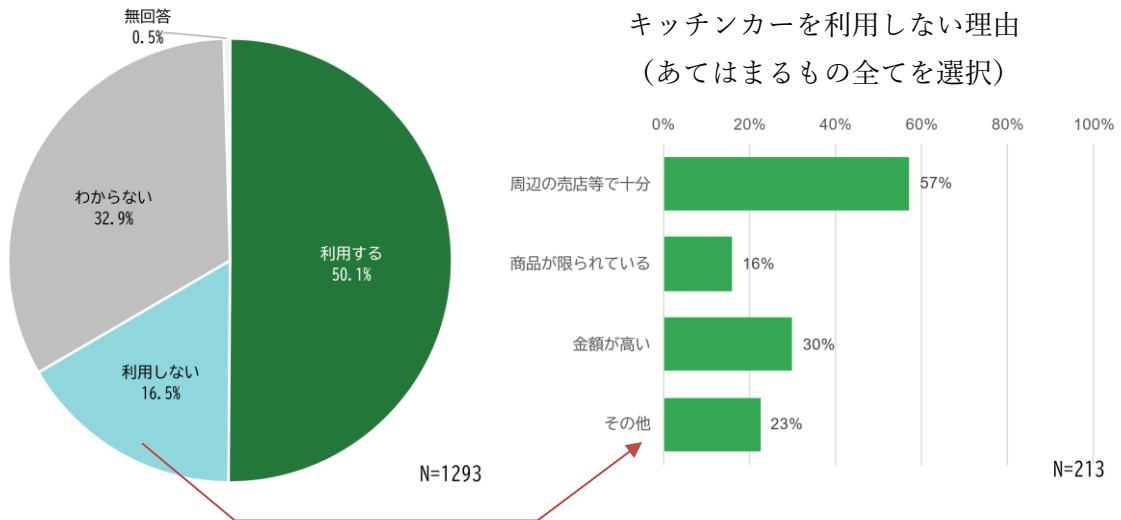


(2) パークマネジメントに関する調査結果

1) 公園のキッチンカーの導入について

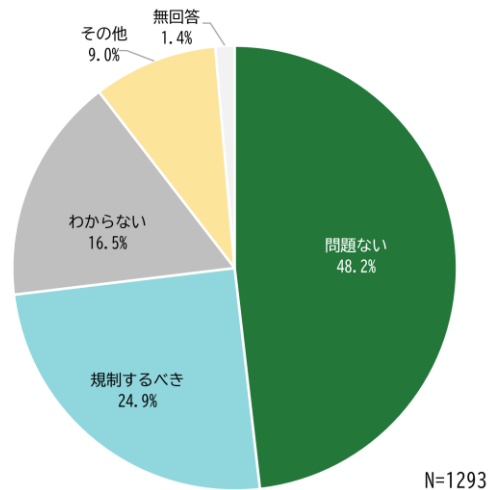
◆公園にキッチンカーが来たら利用しますか？

「利用する」が50%、「利用しない」が17%となっています。利用しない理由としては、「周辺の売店等で十分」が57%、「金額が高い」が30%となっている。



◆公園で、特定の事業者が営利目的の活動（物品販売等）をすることについて、どのように思いますか？

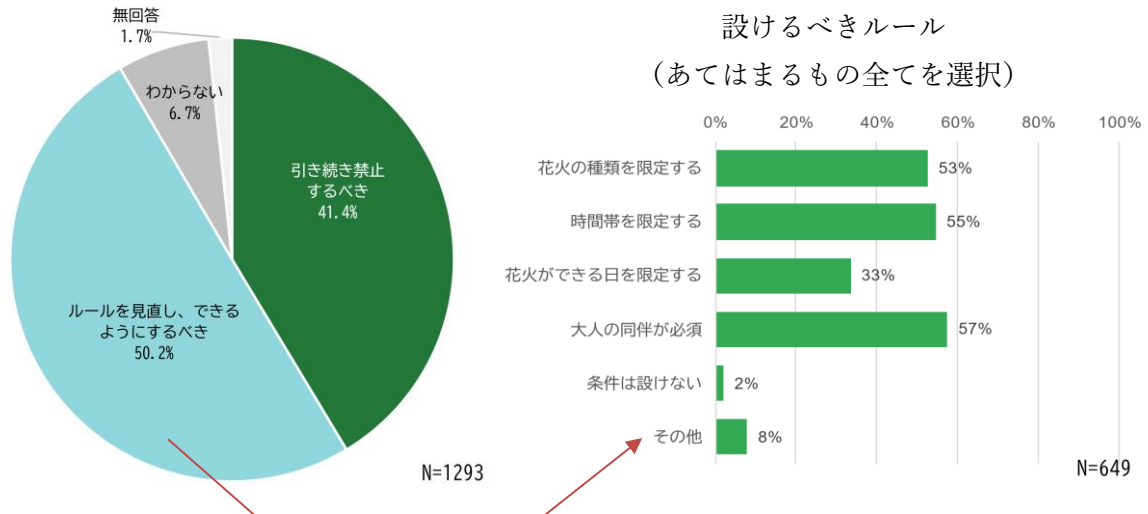
「問題ない」が48%、「規制するべき」が25%となっている。



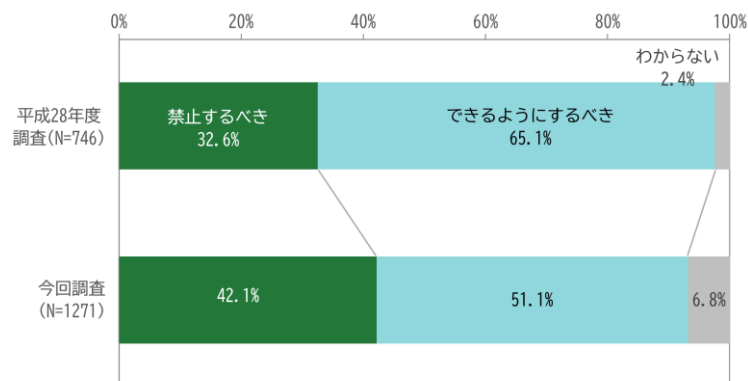
2) 公園の利用規制の緩和について

◆公園内で「花火」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止するべき」が41%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が50%となっています。できるようにするために設けるべきルールとしては、「大人の同伴が必須」が57%と最も多く、「時間帯を限定する」、「花火の種類を限定する」を加えた3項目はいずれも50%を超えている。



前回（平成28年度）と比較すると、「禁止するべき」と回答した割合が9.5ポイント上昇、できるようにするべきと回答した割合が14.0ポイント低下している。

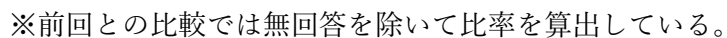
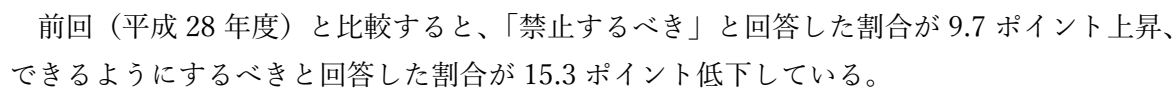


※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

平成28年度、今年度の選択肢と上の集計の対応関係は下表のとおりである。

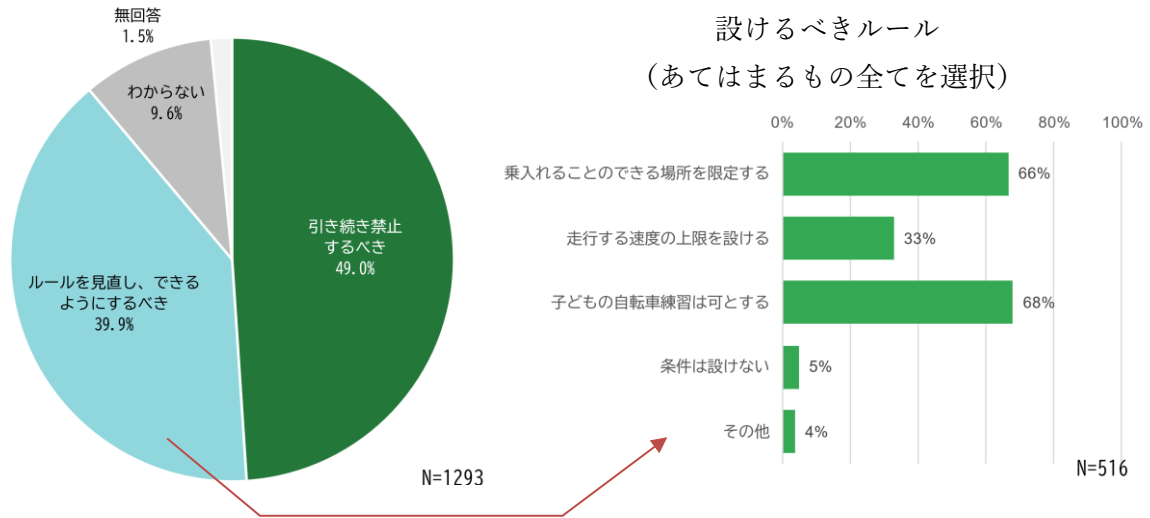
比較グラフの選択肢	平成28年度調査	今回調査
禁止するべき	全公園で禁止するべき	引き続き禁止するべき
できるようにするべき	公園によって定めるべき	ルールを見直し、 できるようにするべき
	公園のエリアごとに定めるべき	
	全公園で認めるべき	
わからない	わからない	わからない

「引き続き禁止するべき」が17%、「ルールを見直し、できるようにするべき」が75%となっている。できるようにするために設けるべきルールとしては、「場所を限定する」が77%と最も多く、次いで「時間帯を限定する」が47%となっている。

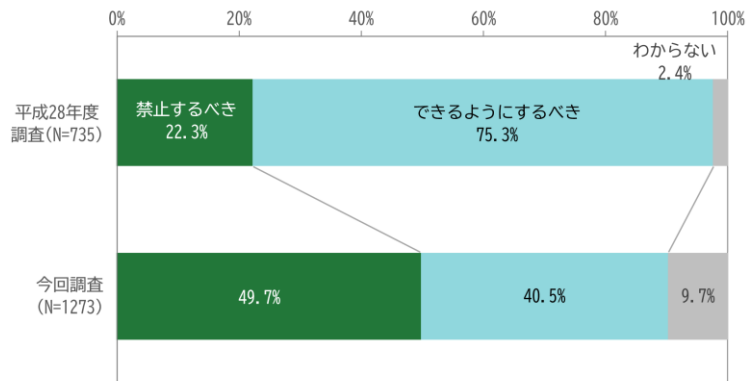


◆公園内で「自転車の乗入れ」をできるようにすることについて、どのように考えますか？

「引き続き禁止すべき」が49%、「ルールを見直し、できるようにすべき」が40%となっています。できるようにするために設けるべきルールとしては、「子どもの練習は可とする」が68%、「場所を限定する」が66%となっている。



前回（平成28年度）と比較すると、「禁止すべき」と回答した割合が27.4ポイント上昇、できるようにすると回答した割合が34.8ポイント低下している。

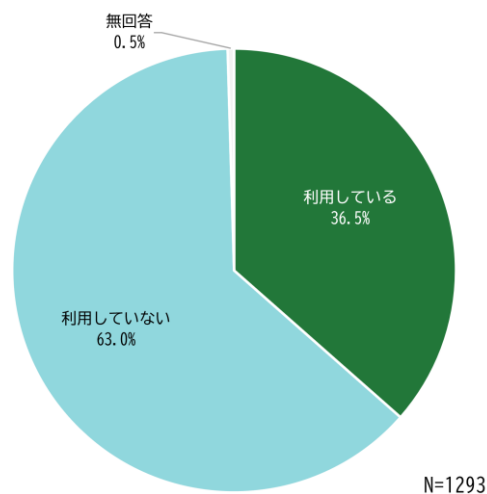


※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

3) 公園のトイレの利用について

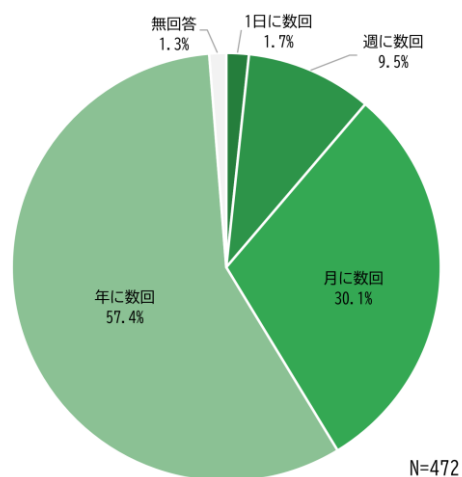
◆公園のトイレは利用していますか？

「利用している」が 37%、「利用していない」が 63%となっている。



◆公園のトイレをどのくらいの頻度で利用していますか？

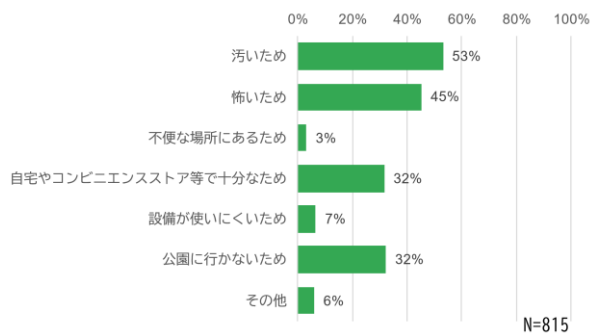
「1日に数回」「週に数回」（合わせて週1回以上利用）が合わせて 11%、「月に数回」が 30%、「年に数回」が 57%となっている。



◆公園のトイレを利用していない理由を教えてください。

（あてはまるもの全てを選択）

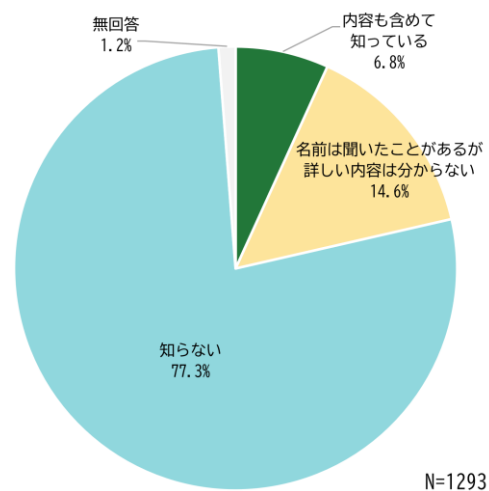
「汚いため」が 53%、「怖いため」が 45%、「自宅やコンビニエンスストア等で十分なため」、「公園に行かないため」がそれぞれ 32%となっている。



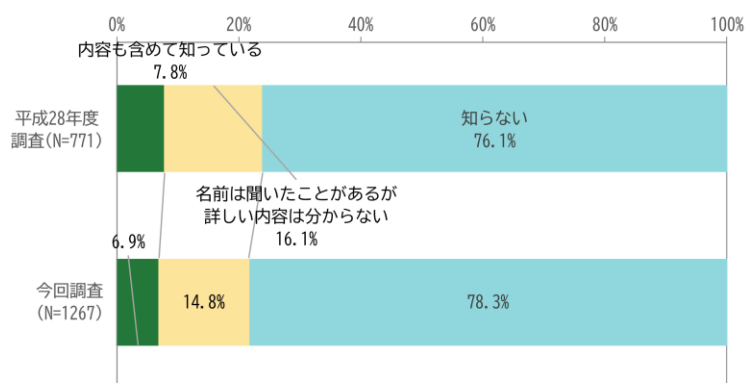
4) プレーパークについて

◆プレーパークのことをご存じですか？

「知っている」「名前を聞いたことがある」
が合わせて21%、「知らない」が77%となっ
ている。



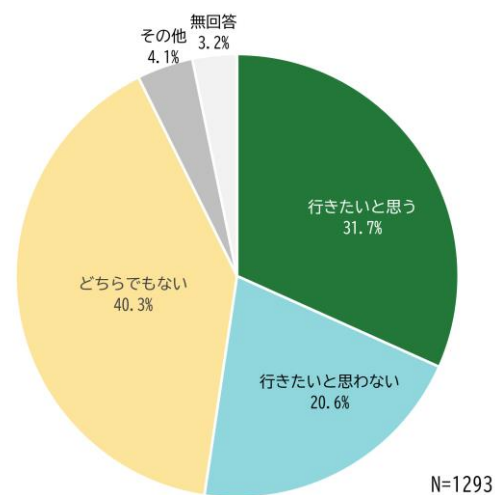
前回（平成28年度）と比較す
ると、「知らない」と回答した割
合が2.2ポイント上昇している。



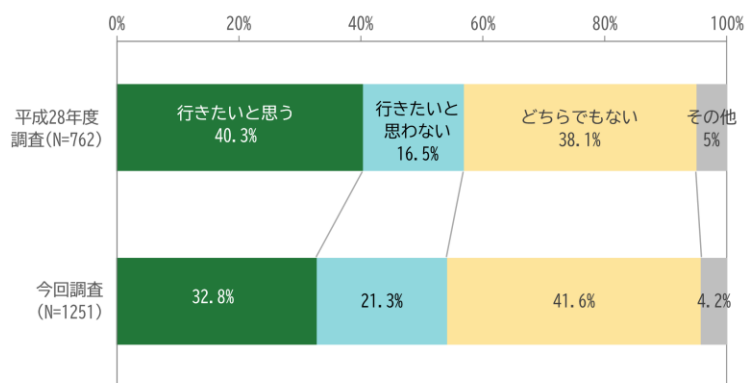
※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

◆公園にプレーパークができたとしたら遊びに行きますか。

「行きたいと思う」が 32%、「行きたいと思わない」が 21%となっている。



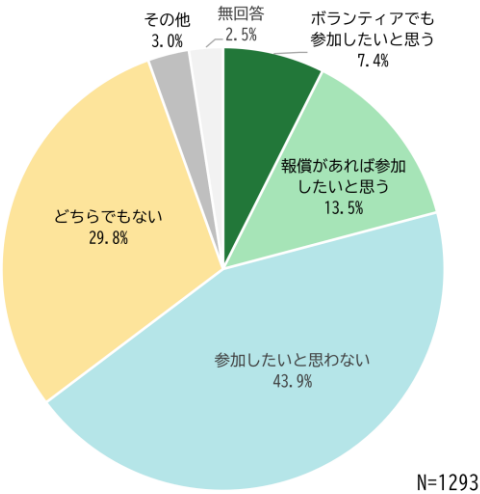
前回（平成28年度）と比較すると、「行きたいと思う」と回答した割合が 7.5 ポイント低下し、「行きたいと思わない」と回答した割合が 4.8 ポイント上昇している。



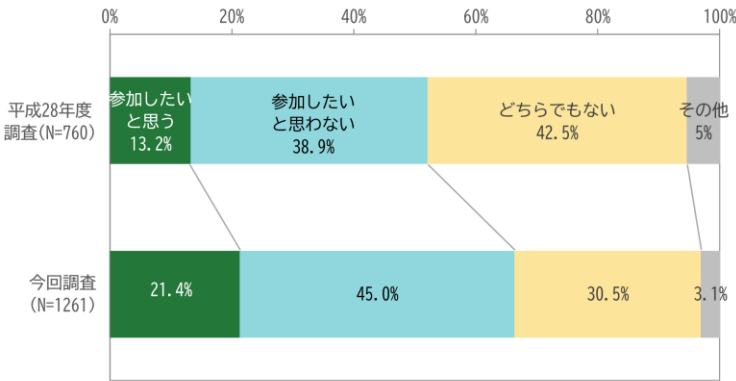
※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

◆プレーパークの運営に参加したいと思いますか。

「ボランティアでも参加したいと思う」「報償があれば参加したいと思う」合わせて 21%、「参加したいと思わない」が 44%となっている。



前回（平成 28 年度）と比較すると、「参加したいと思う」と回答した割合が 8.2 ポイント上昇し、「参加したいと思わない」と回答した割合が 6.1 ポイント上昇している。



※前回との比較では無回答を除いて比率を算出している。

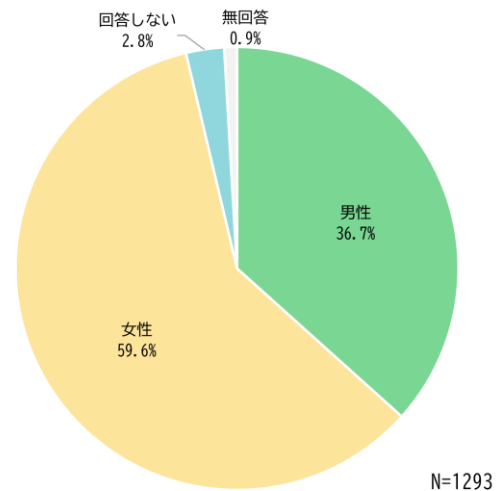
平成 28 年度、今年度の選択肢と上の集計の対応関係は下表のとおりである。

比較グラフの選択肢	平成 28 年度調査	今回調査
参加したいと思う	参加したいと思う	ボランティアでも参加したいと思う 報償があれば参加したいと思う
参加したいと思わない	参加したいと思わない	参加したいと思わない
どちらでもない	どちらでもない	どちらでもない
わからない	わからない	わからない

(3) 個人属性

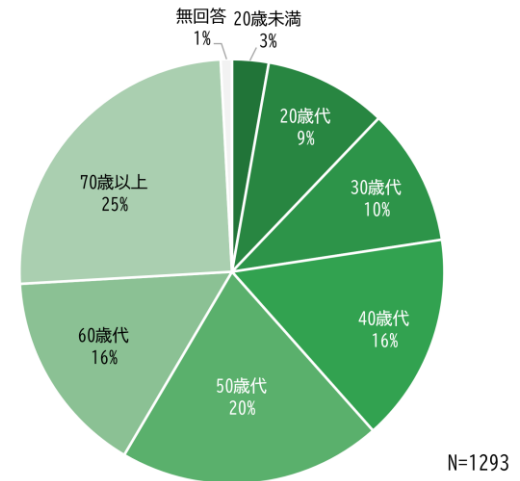
1) 回答者の性別

男性が37%、女性が60%となっている。



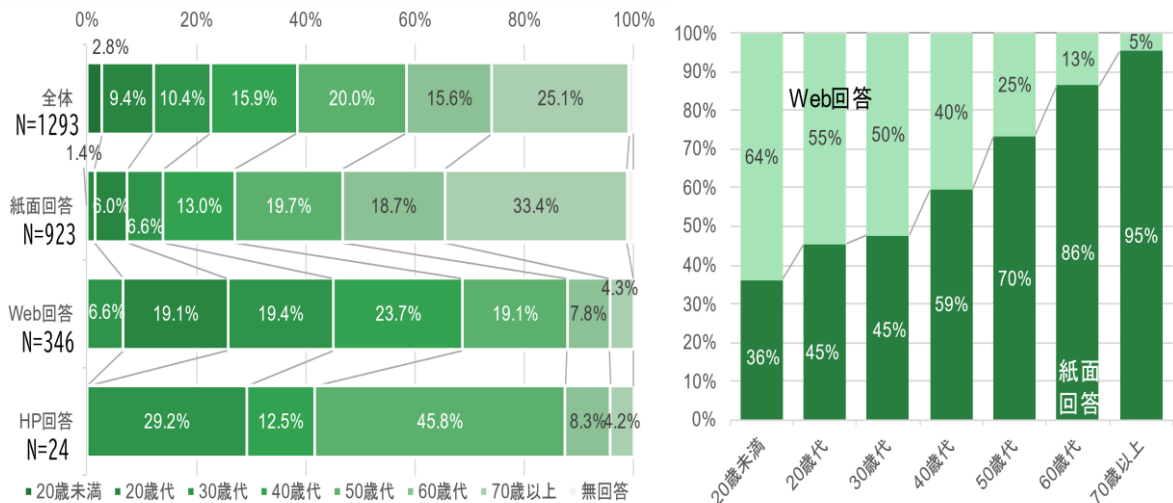
2) 回答者の年齢

70歳以上が25%で最も多く、次いで50歳代の20%、40歳代・60歳代の16%となっている。



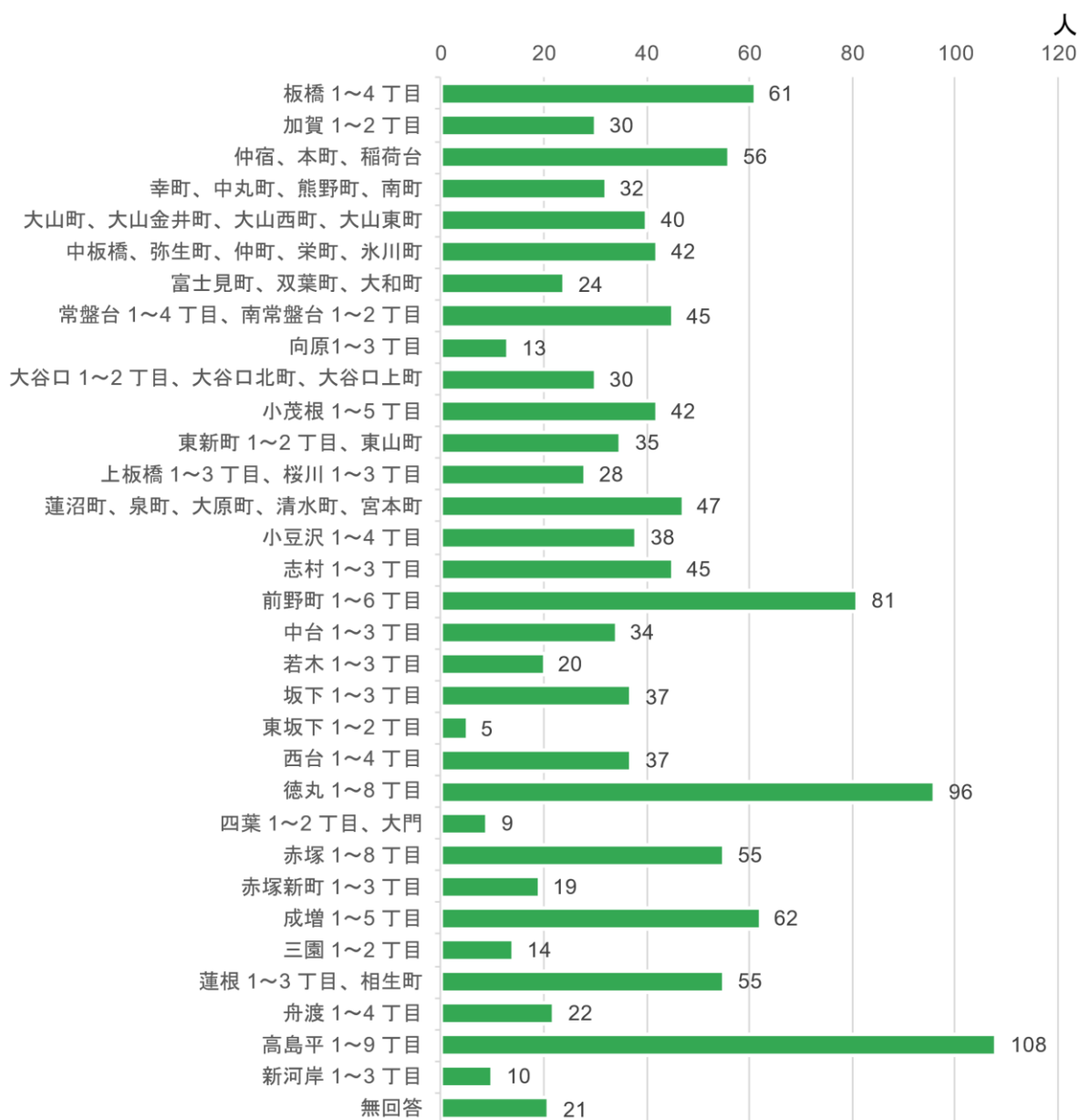
(年齢と回答方法の関係)

紙面回答は72%が50歳以上、一方、Web回答は69%が40歳代以下となっている。年代別の紙面回答とWeb回答の内訳では、40歳以上では紙面の方が多くなっている。



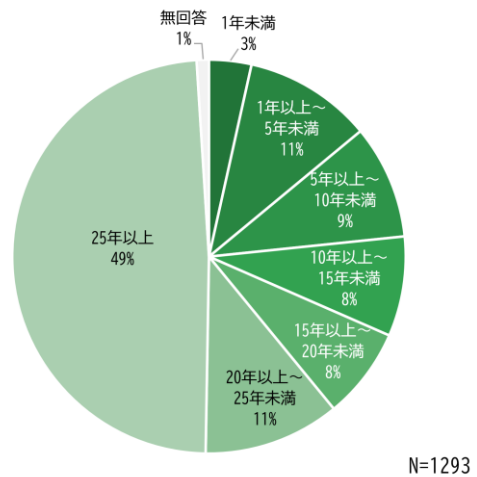
3) 居住地

居住地では高島平1～9丁目と最も多く、次いで徳丸1～8丁目の96人、前野町1～6丁目の81人と続いている。



4) 区内の居住年数

回答者の半数近くの49%の人は25年以上居住している。一方、5年未満の居住者が14%、10年未満の居住者が23%いる。



5) 同居家族の属性（あてはまるもの全て選択）

回答者のうち65歳以上の人がいる家庭が34%（参考：回答者のうち60歳代以上は41%）、小学生・中学生・高校生の子どもがいる家庭が18%、小学校就学前の子どもがいる家庭が9%となっている。

